

■出席委員（14名）

貫田会長、廣江副会長、明瀬副会長、岩野委員、江口委員、岡田委員、小池委員、小林（覺）委員、小林（義）委員、白銀委員、鈴木委員、棚瀬委員、花岡委員、林委員

■欠席委員（1名）

黒田委員

■事務局

藤村政策調整係主査、佐藤主事、天野

■説明員

有澤教育推進課長、江崎生涯学習課長、梅森スポーツ振興係長、藤澤図書館長、大橋社会教育係主査、森健康福祉課長、平光社会福祉係主任、太田社会福祉係主任、橋本環境土木課長、久保田生活環境係長、中村商工労政課長補佐兼商業振興係長、西田魅力創造課長、佐々木総務課長、中島総務課長補佐兼危機対策係長

■1 開会及び挨拶

事務局

定刻となりましたので、只今から、令和5年度第3回総合計画審議会を開会します。資料PI,2についてですが、公立芽室病院の担当の者が急遽不在になっておりますので、1番目の公立芽室病院の施策は来週に評価をさせていただければと思います。それに伴い、来週もこのマネジメントシートの冊子をお持ちください。

会長

公立芽室病院については来週ということで、次の学校教育の充実について事務局からお願います。

■2（1）調査事項 2023年度施策マネジメントシートについて<資料3>

①学校教育の充実

事務局

担当課評価、庁内評価、専門部会評価について説明。

会長

この施策について、質疑はあるか。

#### 委員

テレビで、各家庭の経済状況により子どもの学力に差が出ているというのを見た。もし芽室町でもそのようなことがあるのであれば、それに対して支援をするのはどうか。例えば、高校の無償化など。教育委員会などの繋がりでも支援を行っていただけらいいと思う。子育て世帯は金銭的な負担が大きいので、暮らしやすくなるような町独自の支援を考えていてもらいたい。

#### 有澤教育推進課長

今の状況について、全国の要保護・準要保護世帯の対象者の割合は17%、芽室町は13%である。芽室町では、要保護世帯の方と同様、準要保護世帯の方の経済支援を行っている。またR4年度からの事業でタブレットを使い始めるにあたり、Wi-Fi環境を整えるための部分的な経済支援を行った。

#### 委員

これからの話という所もあるので、そういうことを見据えて計画を立ててほしい。

#### 委員

成果指標③「朝食を毎日食べている」と回答した児童生徒の割合」が少ないのが気になる。このことの分析として、3.施策の達成状況の②の「家庭との連携状況不足がある」とあるが、5.施策の課題認識の「③基本的な食習慣や生活習慣の確立のため、食育・食農教育、生活習慣病検査などの健康教育を推進する。」の記述で、子ども自身に習慣づけるための教育内容は書いてあるが、家庭との連携に対する具体的な啓発方法が書かれていない。そこを盛り込んだ方がいいのではないか。

#### 有澤教育推進課長

子どもたちにはしっかり教育をしているため、今後は養護の先生などに相談し、家庭への啓発方法について目を向けていこうと思う。

#### 委員

成果指標③について、成果指標設定の考え方の③「健やかな体」を育むという点で、指標を設定したのだと思うが、これは学校教育の仕事なのか？と思う。体力測定をやっている中で、数値に特徴的なことがあるのであれば、これから子どもたちにしていく指導も見えてくると思うし、健やかな体を育むという点でも繋がってくるため、成果指標に体力測定に関することを入れてもいいのではないかと思う。あと、体力測定の結果に特徴があれば聞かせてほしい。

有澤教育推進課長

体力測定については7項目あり、その項目の中で、芽室町の子どもたちが全国平均から極端に体力が低下しているというデータはない。

委員

全国平均との比較よりも、体力測定をすることにより、芽室町で子どもたちの健康のためにしていきたいことなどがあれば聞きたい。そして、体力測定の数値にそんなに変化がないのであれば、毎年行う必要はないと思う。子どもの健やかな体を育むという点で、そういった指標があれば、評価の前進ができるのではないかと思い意見した。

会長

体力測定に関して成果指標に盛り込んだらいいのではないかということか。

委員

成果指標としてなくてもいいが、学校で取り組んでいることでもあるため、子どもの健康のことに對して記述があってもいいのではないかということ。

委員

成果指標①「授業の内容がわかる」と回答した児童生徒の割合」について、コロナ禍ということでタブレットの導入があり、授業のやり方が広がったことで、評価するのはなかなか難しいと感じている。子どもたちからのアンケートの結果だけでは必ずしも正確にはわからない。そのため、先生に「昨年と比べて生徒が分かりやすいと思える授業ができたと思うか」というアンケートを取れば、その回答結果から次への対策に繋げることができるのではないか。

有澤教育推進課長

先生たちに対してアンケートはとっていないため、可能であるかも含めて学校現場と協議していきたいと思う。

委員

学校教育の中でやっているため、改めてやらなくてもいいのではないか。

委員

各学校でアンケートを、生徒・保護者・先生にアンケートを年に2回とっている。

有澤教育推進課長

子どもたちと先生たちのアンケート結果がリンクしているか我々で分析してみる。

委員

そのアンケートの中で、成果指標①と同じような質問があると思うが、この割合とずれがあるように思う。学校で取ったアンケート情報は、学校に言えば出してもらえと思う。

会長

今、学校教育に対してたくさん意見を頂いたが、この数字だけに囚われるのではなく、生徒本人の意見や学校側の意見と照らし合わせることも必要である。

委員

そのとおりであると思う。成果指標①のわかる・わからないということに対し、子どもが「わかる」と実感していることに意味があると思う。コミュニティスクールでは、子どもたちは勉強だけでなく他の面を評価されて、自分に自信を持つてることがある。その点で、成果指標②では、コミュニティスクールをやり始めて、数値も伸びている。次に、今の時代、子どもに人権教育をすることが大切であると思う。小さいうちから、おもいやりなどを教えることは勉強よりも大切である。最後に、成果指標③の数値が、85.7%から77%に下がっているのは、経済的格差は影響していないと思う。しかし、もしそうであるなら、家庭との連携をより密にして、経済的格差による影響がないようにしてほしい。

委員

7. 外部評価が「D」になっているのは、成果指標③に引っ張られていると思う。庁内評価では、コロナ交付金を使った基盤整備・環境整備を行ったことから「前進した」と評価していて、私自身も、この基盤整備・環境整備については大事だと考える。そう考えるのも、施策の課題認識の中で、「質の高い教育環境の整備」が大事だとされており、今年は、災害級の暑さであったが、エアコンがあることで、子どもたちの教育環境は整備されていたからだ。成果指標に引っ張られ、D評価にしたのかもしれないが、エアコン設置の成果を評価してもいいのではないかな。

委員

6. 庁内評価のコロナ交付金を使った基盤整備・環境整備は具体的にどのようなことをしたのか。

有澤教育推進課長

エアコンの設置及びICT関係で大型提示装置の導入をし、非常に有効だと学校から評価をいただいている。

会長

評価に移る。庁内評価がC、外部評価がDであったが、この審議会ではC評価でよろしいか。

(異議なし)

評価：C

## ②地域で支え合う福祉社会の実現

事務局

担当課評価、庁内評価、専門部会評価について説明。

会長

この施策について、質疑はあるか。

委員

成果指標③について、2017年の80.6%から2022年は59.1%になっていますが、これは町内会加入率とかなり関係していると思う。福祉の問題だけでなく、包括的な問題である。これは、担当課に任せていいものなのか。町内会加入率について考えないと危機が迫っているように思う。そして、夏の暑い中エアコンを設置するお金のない、収入の少ない人に対してエアコン設置補助を将来的に検討してほしい。

会長

エアコン設置補助について、そういう考え方はあるのか。

森健康福祉課長

住民意識調査について、町内会の加入率が下がっているのに関係があるのだと思う。策定時の高い数字については、成果指標設定の考え方に書いてある、「回答項目数の変更」という点で左右されていることもあると思うが、6割を切る状況というのは、対策が必要である。お話しいただいたことを他の関係課と共有をして対策を進めていきたい。また、今年の災害級の猛暑による熱中症対策の点で、健康福祉課として注意喚起をしたり、高齢者支援課として家庭訪問の強化を行ったが、この暑さは来年以降も続くと思うので、頂いた意見を関係課と共有して対策していきたい。

事務局

住民意識調査の回答項目を5択から4択に変更したという点で、他の施策にも関係する部分のため、補足する。成果指標③の割合は、2017年の住民意識調査では、「出来ていると思う」、「どちらかというと思う」、「どちらともいえない」、「どちらかという

思わない」、「思わない」の5択であったが、「どちらともいえない」の項目をなくして4択になった。そのため、2017年の80.6%は、「どちらともいえない」が含まされたもので、ほかの年よりも高くなった。これは、他の施策でもあることなのでご理解いただきたい。

会長

町内会への加入率を高める方法については、役場関係課だけでなく、町民全体で考える必要がある。議論していく場を設けたい。

委員

成果指標③の数値について、2019年度はコロナに入る前だが、2020年度以降のコロナ禍になってから数値が増えている。しかし、私自身周りから「町内会に入っても意味がない」という声を聞くことがあり、この数値は、何によって支えられているのか。

森健康福祉課長

ボランティアセンターの登録団体の微増や個人のボランティアをされている方が、減らずに維持して活動した頂いたことが1つの要因になるかと思う。その他の、要因はまだ掴めていない。

委員

コロナ禍という困難の中で強い基盤があり、それは今後にも生きるものだと思う。

森健康福祉課長

専門部会でも話があり、行政が介入していない、地域の近所の方同士の支え合いがあることを情報として頂いた。行政が関わっていない、近所の方同士の日々の暮らしの支え合いも数値に関係しているのだと思う。

委員

2. 施策の事業について、少しずつ事業費が増えている要因はなにか。

森健康福祉課長

事業費については、社会福祉協議会に地域福祉活動について業務を委託しており、それにかかる補助金を少しずつ増やしているのが1番の要因になる。

委員

事業費が増えているのであれば、成果指標②もそれに合わせて上がればよかったと思う。お金をかけた割には、成果指標②は目標に届いていないので、できればあげてほしい。

会長

評価に移る。D評価でよろしいか。

(異議なし)

評価：D

### ③社会教育の推進

事務局

担当課評価、庁内評価、専門部会評価について説明。

会長

この施策について、質疑はあるか。

委員

1. 施策の方針と成果指標の記載について、夏休み期間に、めむろ一どの2階を見た時暑いということもあり、学生が勉強している姿があった。図書館だと飲み食いができないため、めむろ一どのような、飲み食いができて、友達同士で勉強ができるような場をどんどん作ってほしい。

江崎生涯学習課長

めむろ一どの2階は環境的には使いやすく人が集まる場所になっている。公民館も使っている方もいる。そのような開放できる施設があればどんどん提供していきたい。

委員

役場の3階も使えるようになり、子どもたちが町の施設に関わってくるのはとてもいいこと。もっと積極的に考えていいと思う。

委員

コミュニティスクールについて前進があったと思う。ボランティアに参加する人も増えているのと、年間で相当数の学校への支援を行っていると感じている。中学校で進路指導に関して、地域の人に話を聞くということをしており、それに対し具体的な段取りをし、要望をとらえて支援を行っているという点で、コーディネーターの仕事は評価でき、果たしている役割が大きいと思う。また、ジモト大学のコーディネーターもおり、1月号のすまいるでコーディネーター募集の要綱を見たが、時給が最低賃金に近いものであった。今コーディネーターがやっている仕事のレベルで、その給料は見合っていないのではと思う。もう少し待遇を考えてほしい。

江崎生涯学習課長

コーディネーター含めて、役場の会計年度職員の給料については、仕事ぶりや仕事の中身、全体のバランスを見ながら調整していく。また、ジモト大学のコーディネーターについては、今やって頂いている方が今後も持続的にやってもらえるかが不安である。その点は、専門家などをお願いすることや金額的なことも含めて、考えているところである。

委員

コーディネーターの仕事は、色々な情報を扱い実績があげられる仕事であるため、単年度の仕事ではないと思う。仕事ぶりを期待するのであれば、そういった検討をし、今の状況を変えてほしい。

委員

専門部会による評価で、生涯学習と介護の融合を検討してほしいという意見について、高齢化の現状を考えると極めて重要な意見になると思うため、是非こういう観点も織り込んでほしい。

江崎生涯学習課長

担当課と事業で何かやっていけないか話している。

委員

コミュニティスクールやジモト大学について、十勝管内でいうと生涯学習の場は充実していると思う。住民意識調査の項目数の変更があったのにもかかわらず高いのは、芽室町で特筆すべき取り組みであるためか、他の市町村でも充実しているためなのか、教えてほしい。

江崎生涯学習課長

芽室町における取り組みは非常に進んでおり、ジモト大学に関しても高評価をいただいている。しかし、社会教育の推進というのは非常に幅広い施策で、町内会や柏樹学園も関係することであり、辛口な評価もある。

会長

評価に移る。D評価としてよろしいか。

(異議なし)

評価：D



#### ④地域文化の振興

事務局

担当課評価、庁内評価、専門部会評価について説明。

会長

この施策について、質疑はあるか。

委員

7. 外部評価の今後の意見に「芽室文芸に子どもの作品があると数も増えてよいのではないか」とあるが、今のところ子どもの作品は積極的にはとらないと考えている。芽室文芸編集委員会では、芽室町にゆかりのある方の作品を積極的に取り入れるという方針でやってきたが、子どもの作品を取り入れるとその方針とずれが生じる。そして、投稿者の方も子どもの作品をとるということは考えていないと思う。子どもたちは、他に作品を発表する場があるため、そういう機会が少ない大人を対象としている。もし、子どもが応募してきた場合には、芽室文芸の趣旨を損ねるものでなければ構わないが、方針についてはご理解をいただきたい。

委員

町民文化展に関する3つの記載で、3. 施策の達成状況では、「町民文化展の出展者増に向けた取り組みは継続的に実施する」、「町民文化展の出展は上昇しているが、見直しを含めて」という記載があり、4. 施策を取り巻く状況変化では「町民文化展の実施内容を見直す必要がある」という記載がある。これらの記載だと、増やそうとして増えているけど見直しが必要ということになるが、その捉え方について教えてほしい。

江崎生涯学習課長

町民文化展の課題として、前はよく菊を多く出してもらっていたが、今はそれがなくなって出展数が偏っている。皆さんが自分たちの作品をしっかりと発表できるようにしてほしいという意見も出ているため、協議していきたい。

委員

増えているということや、偏りをなくすように満遍にしていきたいということを含めて、いいことだと捉えられる文言で記載してほしい。

委員

6. 庁内評価の「コロナ禍により全体的な文化・芸術の振興は停滞しており」の部分の具体的なことを教えてほしい。

江崎生涯学習課長

成果指標の項目は目標を達成しているが、文化協会など、コロナ禍で活動できなかったことについてである。

委員

文化協会について、どんどん会員数が減っていき、運営が困難となっている。3.施策の達成状況にある「協会に協力できるところは支援を行っていく」とあるが、行政の支援がどこまでできるのか、関わりを持っていけそうなのか聞きたい。

江崎生涯学習課長

文化協会について、高齢化が進んでいるが、役員がなかなか変わらないというところがある。そのことに関し介入することはできないが、会計など側面的な支援を行っていく。

委員

それだと今の状況は変わらないと思う。様々な文化的な活動を行ってきたことがどんどんできなくなる状況が見えているため、側面的な支援だけでは良くないのではないかとと思う。どういう風に町として支えていくか考えることが大事である。

会長

行政にもう少し関わってほしいという意見でよろしいか。

委員

関われるのであれば、関わってほしい。このままでは先が見えてしまっている困難な状況。これまで作って支えてきたものが消えていくのをただ黙ってみているのかと思う。もう一步踏み込んで支援してほしい。

江崎生涯学習課長

行政が全部手を出すわけにはいかないが、文化協会と話を進めていく。新たな組織づくりも必要ではと考えている。

委員

文化協会のほかにも「彫刻について話す会」が、本日役場で行われ、文化的な取り組みが進められている。そういった、今まで築かれてきたものを大切にしていきたいという新しい組織ができたり、開拓の研究会や学生を含めた介護の研究会、食に関する取り組みを行っていたりする組織もある。文化的なことに関わらず、地域の課題を広げながら色々な団体が出来ている。更に新しい組織を作るだけでなく、今の時点である団体の応援・支援もして行ってほしい。

会長

評価に移る。C評価としてよろしいか。

(異議なし)

評価：C

## ⑤スポーツしやすい環境づくり

事務局

担当課評価、庁内評価、専門部会評価について説明。

会長

この施策について、質疑はあるか。

委員

ゲートボールについて、イベントなどで、どう振興していくのかが極めて重要。芽室町にとって、ゲートボールは大切な資産である。また、チャレンジデーの全国的な取り組みが今年度で終わった。コロナ禍でも毎年取り組んできたことであると思うが、町にとってそれが、スポーツ振興のどのような位置づけであったのか教えてほしい。そして、今後どのようにしていくのか記載があってもいいのではないか。

江崎生涯学習課長

チャレンジデーについては、財団の予算がなくなり終わったが、チャレンジデーを通して、スポーツをする機会を作るという取り組みに関して芽室町として十分に行えたと思う。実行委員会の中で、今後どうしていくかを考えていきたい。

委員

4. 施策を取り巻く状況変化・住民意見等で「健康プラザ人工芝の適正管理」とあるが、人工芝でフットサルをすると草がなくなり、でこぼこになってしまう。以前直してもらったこともあるが繰り返すため、そういった管理はどうしているのか。

江崎生涯学習課長

サッカーをする方が使うと、でこぼこになったり砂が寄ってしまうため、できるだけきれいに使うようお願いをしていくが、関係団体と今後どうしていくか話を進めていく。

会長

評価に移る。D評価としてよろしいか。

(異議なし)

評価：D

## ⑥防犯対策と交通安全の推進

事務局

担当課評価、庁内評価、専門部会評価について説明。

会長

この施策について、質疑はあるか。

(質疑なし)

会長

質疑がないため評価に移る。D評価としてよろしいか。

(異議なし)

評価：D

## ⑦消費者の安全・安心の確保

事務局

担当課評価、庁内評価、専門部会評価について説明。

会長

この施策について、質疑はあるか。

委員

日頃、消費者活動にご理解をいただき感謝申し上げます。消費者協会の職員が、昨年2人入れ替わり、1年も経たないうちに国家資格を取得し活躍してもらっている。4.施策を取り巻く状況変化に「高齢者人口の増加や消費者ニーズの多様化、インターネットなどを利用した販売方法の普及、成年年齢の引き下げなどにより、消費者環境は大きく変化している」とあり、消費者環境は複雑に多様化しているため、消費者の安全・安心を守る取り組みの継続強化と相談員のスキルアップのために、研修費用などの充実化を是非お願いしたい。

中村商工労政課長補佐

3名のうちの2人が退職し、新たな方に職員として頑張ってもらっているため、待遇改善をして安心して働いてもらえるようにしていく。スキルアップも重要であると思うため、オンラインも上手く活用しながら研修を受けていただきたい。

会長

質疑がないため評価に移る。C評価としてよろしいか。

(異議なし)

評価：C

## ⑧地域内循環の推進と商工業の振興

事務局

成果指標①の7月判明分の2022年度実績については、814億円である。

担当課評価、庁内評価、専門部会評価について説明。

会長

この施策について、質疑はあるか。

委員

成果指標③工業用地利用率の推移について、2017年の実績と2022年の実績のパーセンテージが面積に対して逆転しているように思うが、理由は何か。

中村商工労政課長補佐

過去の数値をみて誤りがあったため、2022年の実績が正しい現状の数値となる。申し訳ない。

委員

7. 外部評価により「後期実施計画の成果指標の変更の検討をお願いしたい」とあるが、Mカードのキャッシュレスに関することを成果指標に入れるとしたら、急に成果指標の変更をして困らないのか、一体どういう流れがあってこの意見が出たのか。

事務局

成果指標の変更については、後期実施計画の議会承認をいただいているため変更は難しい。専門部会で出た話としては、委員の評価として、Mカードのキャッシュレス化の進みを評価していたため、「そこを成果指標にできればいいのに」という話があり、この意見が出た。

委員

3. 施策の達成状況の「芽室東工業団地造成事業では、土地利用の調整難航により新団地造形が進まず企業誘致活動に影響を及ぼした」とあるが、ニーズがあるため今後増やしていくという予定はあるのか。

中村商工労政課長補佐

工業団地については、町が持っている土地はもう貸せるものがない。他の土地は、企業が持っている部分であり余地がない状況。だが、高速インターチェンジもあるということで、土地に関する問い合わせをいただく。町としても工業団地を広げていきたいが、農地は様々な規制があるためなかなか進められない。また、1市3町で都市計画をもって、芽室町が勝手に工業団地を作ることができない状況である。しかし近年、輸送関係のドライバー問題もある。十勝は、道央から釧路までの中間地点であるため、1つ工業団地が欲しいという意見も多くいただいている。北海道と協議をして、皆様の期待に応えられるよう動いている状況である。

会長

質疑がないため評価に移る。C評価としてよろしいか。

(異議なし)

評価：C

## ⑨国際・地域間交流の推進

事務局

担当課評価、庁内評価、専門部会評価について説明。

会長

この施策について、質疑はあるか。

委員

墨田区との交流事業に参加したが、それについての記述がないのはなぜか。また、友好都市との交流はどう深めていくのか。これまでなかった交流の深め方があるのではないかと思う。

西田魅力創造課長

まず1点目の墨田区との交流の記述についてだが、R2年から本格的に始まったことにより、総合計画に記載がなく成果指標にも関係しないため記述をしていない。墨田区とは、友好都市としてまだ締結をしていないが、お互い方向性を見ながら交流を進めている状況である。2点目の揖斐川と広尾の国内交流については、アクセスがとりやすいという部分でも新たな交流が必要だと思う。交流の参加者が、1人でも多く増えることで認知度も上がる。人との交流を始め、最終的には経済交流につながり、お互いがwinwinになる関係が必要になってくる。限られた交流だけではなく、交流の幅を更に広げたい。特に広尾に関しては、友好都市締結後、非常に多くの交流事業をしていたものの、年が経つにつれて縮小した傾向があるが、今はそれが少しずつ復活している状況で

あるため、しっかりと成果を出したいと思う。

委員

トレーシー市との交流について、3.施策の達成状況の「トレーシー市との交流は、交流事業の中止により滞ったが、新たな活動をすることにより、会のモチベーション維持につながった」とあるが、交流をすることを目的としている団体が、それができないというのは会の存続に影響するほど大変であったと思う。しかし、トレーシー市との交流により、子どもたちの将来にも影響を与えていたという事実があり、それが大人の励みになり、交流ができないという大変な状況でも、新たな活動を行い、交流の形を変えてモチベーションを維持し、次の交流につなげていくことができた。このことからC評価に納得である。

会長

評価に移る。C評価としてよろしいか。

(異議なし)

評価：C

## ⑩地域資源を活用した観光の振興

事務局

担当課評価、庁内評価、専門部会評価について説明。

会長

この施策について、質疑はあるか。

委員

成果指標の2022年7月判明分の数値は出ているのか。

西田魅力創造課長

数値は出ているが手元に資料がないため、今お伝えすることができず申し訳ない。

(後日提出)

成果指標①180,000人/年、②304,414人/年である。

委員

成果指標の数値について、2017年度から比べると落ち込んでいるがその原因について教えてほしい。

西田魅力創造課長

コロナ禍で行動制限があったことにより、成果指標の数値が激減していると思う。

委員

コロナが落ち着けば数値は元に戻ると思うか。

西田魅力創造課長

戻る可能性はあると思うが、ウィズコロナにより旅の在り方、観光の仕方に新たなものが入り入れられているため、前と全く一緒の状況に戻るとするのは難しいと思う。

委員

成果指標の数値は、国民宿舎の利用者数としてみていいのか。

西田魅力創造課長

②の新嵐山スカイパーク利用者数がそうなる。

委員

新嵐山スカイパークについて、コロナの影響で宿泊客の落ち込みはあったと思うが、冬のスキー場の利用に関しては、野外のためコロナの影響を受けていないかと思う。しかし、スキー場に関していい話を聞いたことがない。利用者数の落ち込みは、コロナだけが理由ではないと思う。アフターコロナで、どうしていくのか議論をしなければならない問題である。多額の赤字ということだが、今まで町民の税金で好きかってやってきた結果がこうである。グランピングをやるのはいいけど、やってもやりっぱなしという話も聞く。働いている人のやる気やそれを管理しきれていない第三セクターの責任であると思うので、しっかりと考えていただきたい。

西田魅力創造課長

新嵐山スカイパーク利用者数が落ち込んでいっているのは、コロナが原因の全てとは思っていない。スキー場については、コロナのほかの原因として雪の状況も関係してくると思うが、コロナが流行した2019年から利用者が10万人程度減っている。宿泊客は間違いなく減っているのと、新嵐山のメインである宴会がほぼなくなっているのも大きな要因となっていると思う。利用者数減少の要因がコロナだけとは考えていないが、原因の大きな部分を占めるのはコロナだと思う。そして新嵐山スカイパークの運営に関しては、今後慎重に審議していきたい。

委員

新嵐山については、昔から芽室の人たちにとっての憩いの場であった。しかし今は、観光向けに使われることにより、そういう人たちが使いにくくなってしまっている。町の



人が多く利用してもたいした利益にはならないと思うが、町の人にとっての新嵐山でもあるという事を考えてほしい。

会長

評価に移る。庁内評価は、D評価。外部評価はC評価となっている。これからの嵐山に期待するという意味も込めて、この審議会でもC評価でよろしいか。

委員

今後に期待しているということで、あえてD評価でいいのではないか。

会長

それでは、D評価でよろしいか。

(異議なし)

評価：D

## ⑩災害に強いまちづくりの推進

事務局

担当課評価、庁内評価、専門部会評価について説明。

会長

この施策について、質疑はあるか。

委員

7. 外部評価の「熱中症警戒アラート」が発表された際、情報発信などの対応をしていくべき。とあるが、熱中症の発生件数が分かれば教えてください。

佐々木総務課長

この意見が出た背景は、熱中症警戒アラートが出ている中で、近くの中学校で生徒が屋外活動をしているのをみたという目撃情報があったところからである。担当課として、芽室町で熱中症が何件発生しているかは把握していない。

委員

熱中症の関連で、芽室町の学校はエアコンが設置されている。今後も早い段階で、政策立案をしてほしい。そのことにより、芽室町が住みよい町だということに結び付くと思うので、町民の満足度を高める政策をお願いする。

委員

熱中症警戒アラートについて、学校ではマチコミメールで発信がある。

委員

4. 施策を取り巻く状況変化の「自助・共助・公助を基本とした防災体制の整備と確立が求められている」という点で、町内会について、課をまたいだ住民の安全策を用意しているのかを教えてほしい。

佐々木総務課長

町内会は共助の部分を担当している。災害担当としては、町内会の組織が重要であると思うため、なくてはならないものと思う。しかし、町内会加入率はどんどん低下しているということで、その対策は魅力創造課で担当している。総務課としては、町内会加入率が下がっていくという状況を想定した対応を考えていかなければならないと思っている。従来型の町内会ありきの災害対策の先で、町内会の加入率が下がっても、町民の安全・安心を守れる行政としての取り組みを考えていく。そして、魅力創造課とも課題解決に向けて一緒に対策をしていく。

委員

限られた町のお金の配分で大変だと思うが、災害時に町民が安全に過ごせるよう政策をお願いします。

委員

役場全体で、町内会を盛り立てていく対策をしていかないと、どんどん脱退していく。町内会加入促進への対策をお願いします。

佐々木総務課長

数名の町内会長と意見交換する機会があり、その中で「町内会は災害時に機能が発揮される」と意見をいただいた。町内会という組織は災害時に大切だということを前面に出しながら、魅力創造課と対策を進めていく。

委員

町内会の加入率が減ったから新しい組織を作るというのではなく、町内会存続のためにどんどん行動することで結果に繋がると思うため、何か行動をお願いしたい。

佐々木総務課長

町内会に代わる組織を作ると言ったつもりではなく、町内会の加入率が減っても、災害に対応できる体制をとるという意味での発言であった。

会長

ここ数年、審議会で必ず出るのは町内会加入率の問題である。一度この審議会で、この件について議論をしたいと思うので、その節は宜しく。

それでは、評価に移る。C評価としてよろしいか。

(異議なし)

評価：C

### ■ 3 その他

会長

以上で本日の調査事項が全て終了した。今後のスケジュールについて、事務局より説明をお願いします。

事務局

次回第4回審議会は9月6日水曜日。会場と時間は本日と同じく、18:30～役場2階会議室7・8。次回の審議会では、本日の資料と第4回の議案及び資料を持参いただきたい。委員報酬については、前回と今回の分を合わせて9月8日金曜日に送金予定である。

会長

今の説明に関して何か質問や意見はあるか。

(質問なし)

### ■ 4 閉会

会長

それでは、これで本日の審議会を終了する。お疲れ様でした。

20:30